

【教育グループ】

堀金中 長谷川将秀

私は、堀金中学校2年、長谷川将秀です。

教育グループは、3人で構成され、文化について、図書館交流について、学校教育について、生涯学習について学習をしました。そこで、各議員から質問させて頂きます。

私からは学校教育について、特に交通安全教育という観点から質問をさせていただきます。

私は通学路の危険個所の発信についてお尋ねします。

自分の思う課題は、通学路の危険個所の透明性についてです。なぜその課題があると考えたかという、安曇野市内で児童生徒の交通事故がなくなるという現状があるからです。その要因として「通学路における危険個所のマップは市のホームページで見ることができる」ということを知らない人が多いことが挙げられると思います。

そこで、私はせっかくあるそのマップを学校に配布して、児童生徒がいつでも見られるようにしたらどうかと考えました。

また、私にできることとして、「たとえ通学路よりも近い道を見つけても通学路は守る」ということをクラスに呼びかけるようにしたいと思います。そうすることで、児童生徒は登下校の際には、どこがどうして危険なのかを意識して通学路を利用するようになるので、その結果、安曇野市での児童生徒の交通事故の件数は減って行って、いずれは0になると思います。

私は一度交通事故に遭ったことがあります。事故の痛みも辛さもよく分かります。だからこそ、この提言を考えました。私のこの提言によって、交通事故が一件でも減り、私のようなつらい経験をする人が一人でも減ることを望んでいます。「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 教育部

【教育グループ】

穂高西中 勝野 直

私は、穂高西中学校2年、勝野 直です。

私は、文化課の活動である出前展示についてお尋ねいたします。

出前展示の回数を増やして頂けないでしょうか。文化課の方から、年に小中各1校ずつ、学校に出前展示の活動を行っているとお聞きしました。しかし、年に小学校1校、中学校1校では出前展示をみることができない子どもが出てきてしまいます。もっとたくさんの子どもの子どもが様々なジャンルの展示を楽しみ、知識を得られたらいいのに、出前展示の活動さえ知らない子どもが多くいる現状があります。

そこで、私は文化課の方に検討していただき、年に小中2校ずつに出前展示を回していただきたいと思います。そうすれば、市内の子どもみんなが義務教育卒業までに、展示をみることが出来ます。

また、もし私の学校に展示が来た時は、クラスや生徒会を通して、展示を盛り上げていきたいと考えています。

昆虫展や岩石展など、子どもの楽しめる展示の内容があるとお聞きしましたので、ぜひ、文化課の方々に出前展示の回数を年に小中2校ずつに増やして頂きたいです。

そうすることで、子どもが歴史や市についての知識や興味をもつことができると思います。以上のような取組をすることはできないでしょうか。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 教育部

【教育グループ】

豊科南中 木船 琢馬

私は、豊科南中学校2年、木船琢馬です。

私は、「広報あづみの」についてお尋ねいたします。

自分が思う課題は、市内の小中学生の中で、安曇野市で行っている政治や出来事を知っている人が少ないということです。これがなぜ起きているかという点、安曇野市で行っていることを市民に伝える手段が、「広報あづみの」と「安曇野市ホームページ」しかないということと、実際に広報やホームページを、読んだり見たりしているのは、ほとんど大人ということがあるからです。

そこで私は、安曇野市の全ての小中学校の図書館に、「広報あづみの」を置いていただくという方法を考えました。ですが、ただ広報をおくだけでは小中学生には少し難しい内容もあると思うので、あまり興味をもってもらえないと思い、新たな方法を考えました。それが、広報あづみのとは別に、小中学生用の安曇野の政治を知るための本や雑誌をつくるということです。

この実現のため、市には「小中学生向けの広報あづみの」のようなものをつくり、小中学校図書館に配付していただきしたいと思います。

そうすることで、18歳に下げられた選挙権で、小学校、中学校のうちから政治に興味をもち、18歳になった時に選挙に行こうと思う人が増え、その人たちの意見が反映されることにより安曇野市の政治がよりよくなると思います。

この安曇野市の政治を今まで以上に良くするために、この提言をご検討ください。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 政策部